

登校前

- ・登校前に発熱（37.0℃以上）や風邪症状の確認を行い、症状がない場合は**体調チェック表**（別表参照）に保護者が記入し、持参させてください。

風邪症状の例 … 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など

- ・朝の時点で発熱や風邪症状に関わらず体調不良がみられる場合、登校させるか判断に迷う場合は、登校せず自宅で休養してください。症状がおさまっても登校せずに自宅で1日様子をみてください。
この場合は欠席の扱いになりません。
- ・自宅を出る時から**マスクを着用**してください。
- ・**欠席と遅刻の連絡は保護者が行ってください。**

登下校中

- ・公共交通機関での**会話は控えてください。**

登校後

- ・体調不良を申し出た生徒は、学校では休養させず早退させます。
- ・**体調チェック表は朝礼時に担任に提出し、終礼時に返却**されるため持ち帰ってください。
- ・体調チェック表を忘れた場合は学校で検温し、発熱が見られた場合は帰宅して休養してください。
- ・登校後は**手洗い、うがい**をしてから教室に入ってください。
- ・トイレ後、食事前、教室移動前後、実技を伴う授業前後等は必ず手を洗ってください。
- ・ハンカチ、タオル、体操服、水筒、その他**個人の持ち物は貸し借りしない**ようにしてください。
- ・食事の際は、**対面を避け会話は控えて**ください。

その他

- ・体調の変化や早退等、学校からの連絡が常にとれるようにしておいてください。
- ・体調の変化により迎えに来ていただくなど協力をお願いすることがあります。
- ・同居する方がPCR検査を受けることになった場合や、感染者と判定された場合等は、すぐに学校に連絡してください。

《感染経路を絶つために個人が気をつけること》

手洗い

外から教室等に入る時やトイレの後、昼食の前後や、活動の前後など、こまめに手を洗うことが重要です。手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗い、手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ちとして、共用はしないようにしてください。

咳エチケット

マスクの着用が基本ですが、マスクを外している時などは、咳・くしゃみをする際にティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえ飛沫による感染を防ぐようにしてください。

抵抗力を高める

免疫力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」及び「バランスの取れた食事」を心がけてください。